

佐賀の地域性を生かした教材収集

有明海との生物のつながりが見られる六角川 ～武雄市川登～

杵島・武雄支部 御船が丘小学校 教諭 松江敦一郎

1 場所 武雄市西川登町 東川登付近

この地域は六角川の上流地域にあたり、潮が上がってきたといわれる武雄市橘町の潮見橋よりもさらに上流地域にあたる。この地域まで潮が上ってくることはない。

まだ昔からの生態系がそのまま残っている場所も多く、シジミやクロメダガが生息しているところもある。

蛍のころには、たくさんの蛍が飛びかっている場所もある。



2 有明海との関連生物



川登町の矢筈ダム付近では、護岸がコンクリートで固められていない場所もあり、生物の調査や水質の検査がしやすい。また、水深・水量ともに観測には適している。

オイカワ カゲロウの幼生など清流にしかいないようなもののほかに、ヤマノカミもみることができる。淡水カジカ類の、ヤマノカミ属は日本では一種類のみであり、有明海沿岸に生息している。通常、有明海沿岸部にしか生息していないとされるヤマノカミがこの地域に生息しているということは、特異なことと考えられるが、昔からの生態系が守られ続けている証なのではないかとも考えられる。

学習との関連

6年生「生き物の暮らしと自然環境」

4年生「生き物を調べよう」などの学習にも利用できると思う。